めざす姿
いい声
いい顔
いい心

戸崎っ子だより No.12

さらに育てる:伝え合う力・つながる力・挑戦する力・考動する力！

R８．９月文責　古奥

教育目標:　夢と目標を持ち努力と挑戦を重ね　自信を身に付ける児童の育成

前期の人権集会を低、中、高学年に分かれて開催しました。各学年からの学びの発表を共有し、一人一人が自分のこととして考え、学びを自分たちの生活に活かしていけるよう、学年発表や感想交流、日常生活場面を想定したロールプレイ学習をしました。学年発表では学びを人権スローガンにして伝えてくれました。６年生は「〇いじめや陰口をなくします　〇相手を思い、助け合います　〇自分の思いを伝えて仲間を増やします」５年生は「見て見ぬふりをせず、友達を大切にし、思いやりを持ちみんなが安心できる５年１組」と、ほかの学年もそれぞれの学びを宣言しました。ロールプレイ後は、「温かい言葉にならないといけない。やさしい言葉、温かい言葉を使いたい。」等、日ごろ使っている言葉を見直したいという感想がたくさんありました。これからも学校全体の人権宣言や学級の人権スローガンを機会あるごとに振り返って、学校生活を楽しくしていきます。



言葉には「力」がある！～友達の気持ちを考えて話していますか？行動していますか？～

前期の人権集会を低、中、高学年に分かれて開催しました。低学年の皆さんには、人が悲しい気持ちになる言葉、心がポカポカする言葉について話をしました。友達やいろいろな人から言われて、なんだかうれしい言葉があります。例えば「ありがとう、一緒に遊ぼう、手伝おうか」等の言葉です。しかし、世の中では悲しい気持ちになる言葉を聞くことがあります。「へたくそ、じゃま、あっちいって、そんなこともできないの、うざい、きもい、何回も言っているでしょ」などの言葉です。言葉は目には見えませんが人の心を動かす力があります。うれしい気持ち、悲しい気持ちになるのも言葉かけ次第です。言葉で人を喜ばせる人、幸せな気持ちにしてくれる人になりたいですね。まずは、友達同士、「おはよう」の挨拶は、目を合わせて、誰にしているかわかるようにしていくことから始めましょう。そして、みんなの言葉で学校をもっと明るい場所にしていきましょう。

高学年の皆さんには２つの話をしました。１つ目は「周りにいる一人ひとりの存在が大切です」という話です。間違った言動をしている人に、見ている人が気づきます。みなさんはどうしますか？状況が違うこともありますが、「自分がされたらどうしよう、自分が嫌われるのではないか」と思い、何もできないことがあるかもしれません。しかし、「自分に何かできることはないか」と考えてほしいと思います。後からでもいいので「大丈夫だった？」と声をかけることや先生に知らせること、友達に相談することなど、自分にできることを考えて動いてほしいと思います。これが人権を守る行動です。人を傷つけている言動は、やっている人だけで起きているのではありません。周りにいる一人一人の存在が大切なのです。

２つ目の話は８月６日の原爆の日に、広島市の小学６年生の二人が「平和への誓い」を読み上げました。そのなかに、「相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること」「平和とは誰かから与えられるものではなく、世界中の人々でつくりあげるものです。」と言っています。考えの違いを認め、受け止め、自分たちから平和をつくりあげることは、相手を大切にし、人を大切にするということです。友達に思いやりのある声かけや行動が、その人の支えになります。みなさんには、自分を大切にする、友達を大切にする、相手の気持ちを考えて行動する意識をもち、笑顔あふれる学校をつくってほしいと思います。

中学年の皆さんには、「自分と全く同じ人はいないですね」という話から、自分と違うというだけで「変だな」と思ってしまうことがあります。しかし、違うということは悪いことではありませんし、むしろ、全員の得意なことや苦手なことが同じであったら、つまらないと思います。自分ができないことを助けてくれたり、自分が思いつかなかった考えを友達が教えてくれたりすることもあります。「違うということは間違いではありません」。人権を大切にするとは、「自分と同じ人を大切にするということではなく、自分と違う人も大切にする」ということです。自分を大切にでき、友達や人を大切にできる人になってほしいと思います。

今年度も戸崎小ホームページで学校、子どもたちの様子をお伝えします。また、「戸崎っ子だより」は地域の方へもお伝えします。